

目次

.....

【1】 --- 教員コラム第 11 弾 第 8 回(最終回)

「図書館に心から感謝」看護学科 / 岩脇陽子

.....

【2】 --- 年末年始の図書館サービス

.....

【3】 --- 雑誌製本が終了し、利用できるようになりました

.....

【4】 --- 年末大掃除のおともに！「KPUM 図書館サポートプロジェクト古本募金」

.....

【5】 --- 電子ブック「Maruzen eBook Library」年末年始のサービス停止

.....

【6】 --- 2017 年の図書館 3 大ニュース

.....

[ Book Review ] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

---

【1】 --- 教員コラム第 11 弾 第 8 回(最終回)「図書館に心から感謝」

看護学科 / 岩脇陽子

.....

図書館に通い始めたのは中学生の夏休み。潮の香りが漂う海岸の近くにあった木造の小さな街の公立図書館である。友人に誘われて部活の合間のお昼間はよく図書館で過ごした。そこに顔馴染みの同級生の男子生徒も来ていた。時々、話が盛り上がると、図書館の司書さんに「静かにしなさい」と叱られたものである。当時は江戸川乱歩の怪人二十面相などの推理小説が好きで、明智小五郎や小林少年などの登場人物に思いを馳せた記憶がある。図書館は崇高で知的な空間であり、居心地が良かった。様々な見知らぬ世界の扉がそこには用意されていた。高校生の頃は教室の廊下から日本海が望めた図書室であった。3 年生の春までは部活に明け暮れていた。図書室では谷崎潤一郎、川端康成、吉行淳之介の小説を手に取り、友人とは「赤頭巾ちゃん気をつけて」の庄司薫や「悲しみよこんにちは」のフランソワーズ・サガン、「スプーン一杯の幸せ」の落合恵子、星新一、五木寛之などに関心を寄せていた。

京都府立医科大学の図書館には、看護学生の頃はあまり通ってはいなかった。私が入学した頃の看護学舎は旧図書館の右横に隣接していた 3 階建てのクラシック

で天井が高く、両サイドの階段から2階に昇る洋風のモダンな建物であった。1階の看護学関連の雑誌や蔵書が並んだ小部屋が図書室であった。もともと当時は看護系の文献は多くはなかった。その頃は臨床実習の合間に、三島由紀夫、福永武彦、田辺聖子などを読んでいた。附属病院での臨床看護師を経て、看護専門学校の教員になってからは、旧図書館には時々訪れた。階段を上がって、木製の重いドアを開けると、冬の季節の赤い炎のストーブがとても暖かで、多くの蔵書の紙の匂いが懐かしい。ハリーポッターの魔法学校のような静けさと重厚さがあった。

平成5年に看護専門学校は医療技術短期大学部看護学科となり、現在の広小路学舎に移転した。今は管理棟となっている看護専門学校校舎の4階図書室にあった看護学関連の図書や雑誌は今の図書館に移された。看護学のコーナーも作られた。

平成8年には、専攻科（助産学専攻・保健学専攻）が設置され、京都府保健婦専門学校の図書や雑誌も図書館に収められた。図書館は名実ともに看護学科にとっての大切な図書館となった。その頃、先輩から希少疾患の文献を探してほしいとの依頼があった。文献検索がオンラインで簡単にできなかった。それでも、図書館には希少な難病の先駆的な研究成果の報告書が並んでいて、有効な治療法の文献を幸運にも手に入れることができ、複写してお渡しすることができた。また、貴重な古い図書や資料も地下の書庫に多く残っており、素晴らしい。講義の準備や看護研究をいつも支援してもらった。

看護学学舎と図書館は、広小路キャンパスの兄弟姉妹のように聳え立つ。これからも学生と教職員を見守り続けてくれる力強い味方である。大変お世話になり、京都府立医科大学の誇りである図書館に改めて心からお礼を申し上げる次第である。

\*教員コラム第11弾は今号で終了です。今年度は教授に就任された先生方に、図書館や本に関する興味深いエッセイを書いていただきました。8名の先生方、ありがとうございます。（編集子）過去の教員コラムは[こちら](#)から

---

## 【2】---年末年始の図書館サービス

---

### ◆学外からの文献の取寄せ

複写物の入手は翌年になります。

### ◆OPAC 休止のお知らせ

図書館システムのバージョンアップ作業に伴い、OPAC を休止します。

休止期間 平成29年12月28日(月)9:00 - 17:00

この間、OPACによる蔵書検索・複写申込等が利用できません。資料検索はMecke(統合検索)をご利用ください。

◆図書館休館日

平成 29 年 12 月 28 日(木)～平成 30 年 1 月 4 日(木)

\* 新年は 1 月 5 日(金)9 時から開館します。

---

**【3】** ---雑誌製本が終了し、利用できるようになりました

.....  
製本のためしばらく利用停止していた和雑誌・洋雑誌（主に 2016 年発行分）の作業が終了し、通常どおり利用できるようになりました。ご協力、ありがとうございました。ピカピカの表紙で皆様のご利用をお待ちしています。

---

**【4】** --- 年末大掃除のおともに!

「KPUM 図書館サポートプロジェクト 古本募金」

.....  
いよいよ今年もカウントダウンとなってきました。楽しいクリスマスもうすぐです。年末大掃除で本を手放されるときには、ぜひ「[KPUM 図書館サポートプロジェクト古本募金](#)」にご協力ください。皆様の寄付金が医大学生の図書などに活用されます。”古本募金”では、図書買取と共に書き損じハガキ寄付も実施しています。宛先を間違えて出せなかった年賀状、表と裏を間違えてしまった官製ハガキなどを古書と一緒に送ってください。1 枚につき 50 円が京都府立医大に寄付されます。

”古本募金”ご協力の方法は 2 通り

1.(株)バリューボックスに電話又は WEB で申込む

書籍 5 冊以上であれば宅配業者が集荷に伺います。(送料無料) ハガキは書籍 5 冊以上と一緒に送ってください

2.学内回収ボックスに投函する

図書館が回収し、まとめて郵送します。ハガキのみの投函でもご協力いただけます。

---

**【5】** --- 電子ブック「Maruzen eBook Library」

年末年始のサービス停止

.....  
システムメンテナンスのため、丸善雄松堂提供の電子ブック「Maruzen eBook Library」が一時利用できなくなりますのでご了承ください。

停止日時 : 2017/12/28(木)20:00-2018/1/3(水)24 : 00

---

## 【6】 --- 2017 年の図書館 3 大ニュース

.....

平成 29 年最後のメールニュースになりました。

1 年のニュースをふり返り、編者の独断と偏見で今年の図書館 3 大ニュースをランキングしてみました。

- 1.京都府立京都学・歴彩館に医大図書館下鴨館がオープン![\[2017/4/28 号\]](#)
- 2.第 3 閲覧室を 23 時まで開館延長試行![\[2017/9/1 号\]](#)
- 3.どこでも図書館！シボレス認証(学認)に、楽々アクセス WAYFless 設定！  
[\[2017/4/28 号\]](#)ほか]

今年もお世話になりました。来年も図書館をどうぞよろしくお願いします。

---

## [Book Review]

.....

山田慶兒 『夜鳴く鳥』(岩波書店,1990)

古代中国医学の呪術療法について記載されているが、そのあまりにも固有の技術と知識が、かなりの人の想像力によって描き出されたことがよく分かる。

それでも当時の医学技術が未発達の中、治療方がない病気に対しての課題に真剣に取り組む様子は尊敬に値するとよく感じる一冊だった。

(第 2 閲覧室 490.222 | | Y) (N.M.)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ:<http://booklog.jp/item/1/4000023772>

.....

図書館メール News 第 351 号 2017.12.22 発行 (隔週金曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

[library@koto.kpu-m.ac.jp](mailto:library@koto.kpu-m.ac.jp)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/sougouannai/mailnews.html>